

<p>1. 川西市の重点方針</p> <p>元気でうれしいあるオンリーワンのまちづくりを実現するため、第4次総合計画後期基本計画「笑顔・ときめき川西プラン」に掲げる次の3点に重点を置いて施策展開を図ります。</p> <p>①次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくり ②市民の笑顔と元気がみなぎるまちづくり ③市民とともに築く未来に向けたまちづくり</p>	<p>2. 上下水道局のサービス対象者</p> <p>(上水道)一般使用者は料金引下げ(現状維持)と安全な水質の維持を要望されていますが、更に、地震等災害時においても安定した給水の確保・環境に配慮した事業を要望されると考えています。</p> <p>また大口使用者も、上記と同様な要望されていますが、特に、料金においては、通減制の料金体系の要望もあり、経費削減から、地下水を利用する専用水道を開設(水質が悪く開設できず)を考える動きがあるなど、水道事業にとっては使用量の減少となり、経営を圧迫すると考えられます。</p> <p>(下水道)使用者は下水道のつまり等に対して迅速な処置と維持管理を求めている。今後、施設は老朽化することからこれらに対応するための更新等が必要と考えられる。</p>	<p>3. 上下水道局を取り巻く経営環境</p> <p>節水意識の定着・節水器具の普及、ライフスタイルの変化(家庭で料理をしないなど)、専用水道(地下水)開設者の増加による水需用の減少に伴う給水収益・下水道使用料の減額</p> <p>環境の変化に伴う水質に対する関心度のアップ</p> <p>老朽化した上下水道施設の更新(耐震化の必要性)・雨水施設の長寿命化計画の策定</p> <p>熟練技術者の高齢化、技術継承者不足</p>
--	---	--

4. 上下水道局がめざす姿

(上水道)市民から信頼され、安全な水道水を安定して送り続けるライフラインを目指していきます。
(下水道)快適で衛生的な生活環境、雨水排除による浸水の防除、公共用水域の水質保全を図るための社会基盤を提供する。

1)対外的
料金を現状維持しながら、安定的な経営(黒字)を行っていきます。
水質基準値に適合した水質管理徹底して行っています。(上水道)
老朽施設の更新・耐震を行っていきます。
長寿命化計画により雨水施設の更新を行う(下水道)

2)対内的
経費の削減など効率的な経営を行っていきます。
事業評価を強化し、費用対効果を徹底して行います。
技術の継承などのため、研修を行って行きます。

5. 上下水道局の現状

<p>(1)重要成功要因</p> <p>①料金の現状維持のため、経費の削減を図り、経営計画を推進中である。</p> <p>②水質の充実を図るため、水質基準項目以外の検査を実施している。(上水道)</p> <p>③事業を推進する上で経営計画との整合を図りつつ、施設更新において、費用対効果事業を優先的に行っている。</p> <p>④技術の継承として、上下水道職員の交流、新規職員の採用、再任用職員の活用、内外研修への参加を積極的に進めている。</p> <p>⑤企業債の借換措置を活用することにより償還金の削減を行っている。(下水道)</p> <p>⑥雨水施設の長寿命化計画による更新事業を行う。(下水道)</p>	<p>(2)経営上の強み</p> <p>①公営企業法に基づく事業であるため、その会計は財務諸表に基づき、明確である。また、自主性を発揮し、能率的、経済的に業務を遂行し、事業に取り組むことができる。</p> <p>②上水道は「安全な水道水を安定して送りつづける」という「水道ビジョン」に基づき、事業計画を作成することができる。これにより全体の舵取りがしやすく、経営方針を全職員に浸透させ、経営・投資計画をマネジメントできる。</p> <p>③上水道は水道水を提供、下水道はその排水に対して料金を徴収するため、サービス提供する側・される側が明確である。また、徴収額は水道水の使用量により算定されるので、使用者から一目瞭然である。 サービス提供する側にとっても使用者の反応を直接的に確認でき、対応がスピーディーである。</p> <p>④上下水道の人事交流により、業務の効率化を図ることができる。</p>	<p>(3)経営上の課題</p> <p>①市民の満足に向けて</p> <p>①水道は、市民生活に欠かすことのできない、高い社会的責任を担っており、使用者が選択する余地がほとんどないため、水道事業は、より一層、安全な水道水を安定して送りつづけることが必要であり、また、環境にも配慮した水道事業を展開していく必要がある。</p> <p>下水は快適で衛生的な生活環境、雨水排除による浸水の防除、公共用水域の水質保全を図るための社会基盤を提供する必要がある。</p> <p>②市民の節水意識の高まり、節水器具の普及などによる水道水の使用量の減少は今後も続く見込まれる。これにより収益は減額となり、経営は厳しさを増すこととなる。 水道水の使用量の減により下水道使用料も減となり、同様に経営の厳しさが増す事となる。 しかしながら、景気の低迷により、使用者の生活を圧迫している状況では料金を改定し、引上げすることはできない。</p> <p>②組織体質の改善に向けて</p> <p>水道料金の現状維持のため、経営努力により経常経費等(受水費)を削減し、経営計画を評価しながら推進する。また、環境などを考えた企業イメージアップを図る。 下水道料金も現状維持のため、企業債の借換えにより、経営状況の健全化を図る。</p> <p>上下水道事業は、技術者の年齢構成の5割が50歳以上である。このため、施設の維持管理、構築物の建設などの技術を継承することが大きな問題となっている。職員の若返り、内部研修を充実、外部機関への研修、フォローアップ研修をの充実を図る。</p>
---	--	--

6. 上下水道局の重点目標

(1)市民満足の向上に向けて

上水道は「安全な水道水を安定して送りつづけるために」、水質監視の強化を図ると共に、老朽化した施設、管路の耐震化を行い、濁水等における連絡管を布設することにより安定した給水の確保を図ることを目標とします。
下水道は「快適で衛生的な生活環境、雨水排除による浸水の防除、公共用水域の水質保全」を図るための社会基盤を提供することを目標とします。

また、経営計画を評価し、経常経費の削減することにより現行料金水準を可能な限り維持し、環境にも配慮した企業イメージのアップを目標とします。

(2)組織体質の改善に向けて

団塊の世代の大量退職により、技術の継承が問題となり、組織力の弱体化が懸念される。上下水道技術の取得は知識の他、現場での経験が求められることから、上下水道職員との交流、新規職員採用、再任用職員の積極的な活用を目標とする。

また、外部研修の参加、内部研修として現場の実践業務・研修による技術の向上、人材育成を目標とする。

内部研修として、水道事業全般に亘るフォローアップ研修を行うことを目標とする。

7. 上下水道局の目標

指 標		H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H23末目標	H24末目標
① 施策評価指標	上水 川西の水が安心して飲めると感じている市民の割合	67.3%	71.8%	72.1%	73.1%	73.6%	70.0%
	下水 水洗化の普及	97.7%	98.2%	98.4%	98.5%	98.8%	100.0%
② 市民満足向上目標	上水 久代浄水場電力削減率	3.4%	3.6%	3.4%	3.3%	3.4%	3.5%
	下水 雨水排除による面的整備	70.8%	71.4%	71.4%	71.4%	71.7%	72.9%
③ 組織体質の改善目標	上下水 職員1人あたり研修時間(外部)	3.8時間	3.4時間	5.0時間	4.5時間	5.0時間	5.5時間
	上下水 職員1人あたり研修時間(内部)	1.0時間	2.6時間	2.6時間	2.5時間	3.0時間	3.5時間
	上下水 職員1人あたり研修時間(フォローアップ)				1.0時間	1.5時間	2.0時間
	上下水 職員満足度指数(あなたの職場では必要な情報が確実に伝えられていますか。)(5点満点)			2.31点	1.63点	2.3点	2.5点